

ユニバーサルデザイン 2020 中間とりまとめ素案 (街づくり (交通 WG パート))

1. 東京大会の競技会場、アクセス経路等の重点的なバリアフリー化 [国土交通省]
 - 1) 主要鉄道駅におけるバリアフリー化の推進
 - ① アクセシブルルートに係る鉄軌道駅をはじめとするオリンピック・パラリンピック関連駅へのエレベーターの増設やホームドアの整備などのバリアフリー化の重点支援を実施する。
 - 2) 海外との主玄関口となる成田空港、羽田空港国際線ターミナルを中心とした空港のバリアフリー化の推進
 - ① 海外との主玄関口となる成田空港、羽田空港国際線ターミナルについては、Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドラインや過去のパラリンピックの開催実態等を踏まえ、世界トップレベルのUD水準となるよう、本年度中に数値目標を設定するとともに、必要な取組を具体化する。また、これに準じ、乗継に利用される羽田空港国内線ターミナルや相手先の地方空港ターミナルについても、本年度中に数値目標の設定、取組の具体化を行う。これによって、同大会のレガシーとして、誰もが自由に空港を利用できる環境とすることを目指す。
 - ② 羽田空港国際線ターミナルのUDタクシー及び一般タクシーの乗り場の再配置について、障害者のタクシー乗り場へのアクセス改善を図るため、関係者と協議の上、本年度中に整備を完了する。
2. 各地において、アクセシビリティ・ガイドラインを踏まえた高い水準のユニバーサルデザインを推進 [国土交通省]
 - 1) 移動等円滑化基準・ガイドラインの改正
 - ① 今後策定される Tokyo2020 アクセシビリティ・ガイドライン等を踏まえ、全国のバリアフリー義務化基準である「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づく移動等円滑化基準・ガイドラインの改正内容の検討を速やかに進め、平成29年度中を目途に改正する。
 - ② 鉄道車両における車いすスペース設置箇所数を拡大し、1編成につき原則2箇所以上の車いすスペースの基準化を目指す。
 - 2) 鉄道における車いす利用環境の改善
 - ① 車いす利用時の待ち時間や、多数の車いす利用者が集中して鉄道車両に乗車しようとする際の対応などについて、関係者の意見を調整するための検討会を本年度中に立ち上げ、車いす利用環境の改善を推進する。
 - ② ハンドル形電動車いすの鉄道車両等への乗車要件等の見直しを検討する検討

会を本年度中に設置し、本年度末を目処に結論を得る。

3) 全国の主要な旅客船ターミナル及び船旅メジャールート等のバリアフリー化の促進

- ① 全国の主要な旅客船ターミナルについて、旅客船の乗降口から公共バス・タクシー等の乗降場所までの連続的なバリアフリー化の対応状況を本年度中に点検し、点検結果を踏まえバリアフリー化を促進する。
- ② 船旅メジャールート（東京の舟運や瀬戸内海航路等）における新造船の先進的なバリアフリー化を推進するため、今後新造される旅客船について先進的なバリアフリー化を促すとともに、各地域においてもバリアフリー化を促し、その状況を踏まえ、旅客船を利用するための陸上交通機関からのバリアフリールートを利用者に情報発信する。
- ③ 旅客船全体のバリアフリー化を推進するため、本年度中にバリアフリー優良事例を収集・PRするとともに、旅客船のバリアフリー基準の見直しを行う。

4) 航空旅客ターミナルにおけるバリアフリー化の推進

- ① 移動等円滑化基準・ガイドラインの改正内容に合わせて、「みんなが使いやすい空港旅客施設計画資料」（空港のバリアフリーに関するガイドライン）の改訂に向けた検討を行い、更なるバリアフリー化を促進する。
- ② 航空旅客ターミナルにおいて、「障害者差別解消法」に基づく障害者への不当な差別の禁止等に係る対応方針を本年度中に策定する。

5) 観光地のバリアフリー情報提供促進

- ① 関係自治体による観光地のバリアフリー情報の自己評価・公表を促進することにより、観光客が全国の観光地のバリアフリー状況を把握し、比較できる環境整備を行う。今年度は国と地方自治体が連携し、全国数カ所で観光地のバリアフリー状況についてのモデル的な評価を実施する。将来的には利用者が各観光地の評価指標を手軽に比較できるよう、ポータルサイト等による一元的な情報提供の実現を目指す。

3. 複合施設（大規模駅や地下街等）において、連続的・一体的なバリアフリーの推進

（建築・施設WGにて検討）

4. 障害者用トイレ整備の推進 [国土交通省]

1) 多機能トイレの利用環境改善

- ① 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づく移動等円滑化基準やガイドラインを平成29年度中を目途に改訂し、一般便房の改良を含めた多機能トイレの機能分散に関する対応を盛り込む。

- ②多機能トイレの利用に係るマナー改善に向けたキャンペーンを実施し、多機能トイレの機能を必要とする人が優先的に利用できるような環境整備を図る。

5. リフト付きバス・UDタクシーの普及 [国土交通省]

1) リフト付バス・UDタクシー車両の導入促進

- ①バス・タクシーのバリアフリー車両の導入促進のために必要な支援を行う。特に導入が遅れている空港アクセスバス及びUD（ユニバーサルデザイン）タクシーについて、重点的に支援を行う。
- ②図柄入りナンバープレート制度検討会の取りまとめ（本年5月）等を踏まえ、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートをはじめとした図柄入りナンバープレートの寄付金を活用し、UDタクシー、リフト付きの空港アクセスバス等の整備促進・利便性向上を図る。

6. ICTを活用したきめ細かい情報発信・行動支援

（建築・施設WGにて検討）